

令和7年度国民健康保険料の計算方法

国民健康保険料は、世帯の国民健康保険加入者一人一人について算出した合計を、その世帯の年間保険料として、納付義務者となる世帯主名で通知しています。具体的には、下の表の（１）～（３）の組み合わせにより保険料が決まります。ただし、年度の途中で加入・離脱があった場合、資格のない月数分は年間保険料より控除されます。

国民健康保険料の料率

区分	計算方法	料率		
		医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分 (40歳～64歳)
(1)所得割	基準総所得金額(総所得金額の合計－基礎控除額)×料率	9.30%	3.02%	2.56%
(2)均等割	国保加入者１人につき	34,424円	11,034円	18,784円
(3)平等割	１世帯あたり	33,574円	10,761円	

医療給付費分【(1)+(2)+(3)】と後期高齢者支援金分【(1)+(2)+(3)】と介護納付金分【(1)+(2)】の合計額が１年間の保険料となり、賦課限度額は106万円【医療給付費分65万円＋後期高齢者支援金分24万円＋介護納付金分17万円】となります。

基準総所得金額の算出（下記の計算を世帯の一人一人で行います。）

1. 事業所得

収入金額 − 必要経費 − 専従者給与 − 純損失

事業者に専従者控除があった場合、事業者は専従者控除後の所得、専従者は給与収入としてそれぞれ所得割額の計算をします。

2. 給与所得

収入金額 − 給与所得控除額

3. 年金所得

年金受給額 − 公的年金控除額

4. 譲渡所得

収入金額 − 取得費等経費 − 特別控除額

長期譲渡所得等があった場合、特別控除を適用した後の所得で計算します。

＊ 上記で算出した所得金額を合計して基礎控除額（次頁参照）を控除したものが基準総所得金額となります。

基礎控除額

合計所得金額	市民税の基礎控除額
2,400 万円以下	43 万円
2,400 万円超 2,450 万円以下	29 万円
2,450 万円超 2,500 万円以下	15 万円
2,500 万円超	0 円

国民健康保険の軽減

令和 6 年中の軽減判定所得が基準額以下の場合には、保険料の均等割・平等割が軽減されます。

基準額	軽減割合（均等割・平等割）
43 万円 <u>+10 万円×（一定の給与・年金所得者数－1）（※1）</u>	7 割軽減されます。
43 万円+30 万 5 千円×被保険者数 <u>+10 万円×（一定の給与・年金所得者数－1）（※1）</u>	5 割軽減されます。
43 万円+56 万円×被保険者数 <u>+10 万円×（一定の給与・年金所得者数－1）（※1）</u>	2 割軽減されます。

- ※1 波線部分については、一定の給与・年金所得者（次の①～③のいずれかに該当する方）が2名以上の場合のみ計算対象となります。
- ①給与収入額が 55 万円を超える方
 - ②65 歳未満かつ公的年金等収入金額が 60 万円を超える方
 - ③65 歳以上かつ公的年金等収入金額が 125 万円を超える方
- ※2 軽減判定するときの総所得金額等には、専従者控除、譲渡所得の特別控除に係る部分の税法上の規定は適用されません。
- ※3 当分の間、年金収入につき公的年金等控除を受けた 65 歳以上の方については、公的年金等に係る所得金額から 15 万円を控除して軽減判定します。

未就学児の均等割の軽減

未就学児（0～6 歳）に係る保険料の均等割について、5 割軽減となります。

上記 7 割、5 割、2 割軽減該当の場合、軽減後の均等割からさらに 5 割軽減されます。

令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)の、あなたの世帯の保険料を計算してみましょう。

医療給付費分の算出

所得割額

所得のある加入者1人目

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{総所得金額} \\ \hline \end{array} \text{円} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除額} \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline 43 \text{ 万円} \cdot 29 \text{ 万円} \\ \hline 15 \text{ 万円} \cdot 0 \text{ 円} \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{料率} \\ \hline \end{array} 9.30\% = \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \end{array} \text{円}$$

所得のある加入者2人目

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{総所得金額} \\ \hline \end{array} \text{円} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除額} \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline 43 \text{ 万円} \cdot 29 \text{ 万円} \\ \hline 15 \text{ 万円} \cdot 0 \text{ 円} \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{料率} \\ \hline \end{array} 9.30\% = \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \end{array} \text{円}$$

均等割額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{国民健康保険加入者数} \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \text{(未就学児を除く)} \\ \hline \end{array} \text{人} \times 34,424 \text{ 円} = \begin{array}{|c|} \hline \text{②} \\ \hline \end{array} \text{円}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{国民健康保険加入者数} \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \text{(未就学児数)} \\ \hline \end{array} \text{人} \times 17,212 \text{ 円} = \begin{array}{|c|} \hline \text{②} \\ \hline \end{array} \text{円}$$

平等割額

$$\begin{array}{|c|} \hline 1 \text{ 世帯あたり} \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{|c|} \hline \text{③} \\ \hline \end{array} 33,574 \text{ 円}$$

$$\text{①} + \text{②} + \text{③} = \begin{array}{|c|} \hline \text{A 医療分年間保険料} \\ \hline \end{array} \text{円} \quad (\text{賦課限度額 65 万円})$$

後期高齢者支援金分保険料の算出

所得割額

所得のある加入者1人目

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{総所得金額} \\ \hline \text{円} \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除額} \\ \hline 43 \text{ 万円} \cdot 29 \text{ 万円} \\ 15 \text{ 万円} \cdot 0 \text{ 円} \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{料率} \\ \hline 3.02\% \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

所得のある加入者2人目

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{総所得金額} \\ \hline \text{円} \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除額} \\ \hline 43 \text{ 万円} \cdot 29 \text{ 万円} \\ 15 \text{ 万円} \cdot 0 \text{ 円} \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{料率} \\ \hline 3.02\% \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

均等割額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{国民健康保険加入者数} \\ \hline \text{(未就学児を除く)} \\ \hline \text{人} \end{array} \times 11,034 \text{ 円} = \begin{array}{|c|} \hline \text{②} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{国民健康保険加入者数} \\ \hline \text{(未就学児数)} \\ \hline \text{人} \end{array} \times 5,517 \text{ 円} = \begin{array}{|c|} \hline \text{②} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

平等割額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1世帯あたり} \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{|c|} \hline \text{③} \\ \hline 10,761 \text{ 円} \end{array}$$

$$\text{①} + \text{②} + \text{③} =$$

B 支援金分年間保険料

円

(賦課限度額 24 万円)

介護納付金分の算出

所得割額

所得のある加入者1人目

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{総所得金額} \\ \hline \text{円} \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除額} \\ \hline 43 \text{ 万円} \cdot 29 \text{ 万円} \\ 15 \text{ 万円} \cdot 0 \text{ 円} \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{料率} \\ \hline 2.56\% \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

所得のある加入者2人目

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline \text{総所得金額} \\ \hline \text{円} \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除額} \\ \hline 43 \text{ 万円} \cdot 29 \text{ 万円} \\ 15 \text{ 万円} \cdot 0 \text{ 円} \end{array} \right) \times \begin{array}{|c|} \hline \text{料率} \\ \hline 2.56\% \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{①} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

均等割額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{国民健康保険加入者数} \\ \hline \text{人} \end{array} \times 18,784 \text{ 円} = \begin{array}{|c|} \hline \text{②} \\ \hline \text{円} \end{array}$$

$$\text{①} + \text{②} =$$

C 介護分年間保険料

円

(賦課限度額 17 万円)

A 医療分年間保険料 円	+	B 支援金分年間保険料 円	+	C 介護分年間保険料 円	=	D 年間国民健康保険料 円
-----------------	---	------------------	---	-----------------	---	------------------

D 年間国民健康保険料 円	÷	10 ヲ月	=	6 ヲ月以降の月額保険料 円
------------------	---	-------	---	-------------------

※所得割は、所得のある加入者全員の合算となりますので、3 人目以降の方については、同様の計算を行う必要があります。

※計算した保険料は、加入月数等により実際と異なる場合がありますので、目安としてご利用ください。